

閱覽用

# 千葉県独自分積算基準 (農業農村整備事業)

令和8年5月1日適用

千葉県農林水産部耕地課

## 本書の取扱いに関する留意事項

### 1 取扱い

本書は、千葉県農林水産部の積算基準（農業農村整備事業）を一般公開するために作成したものであり、この取扱いは「千葉県農林水産部の積算基準（農業農村整備事業）の公開に関する事務取扱要領」（令和4年4月1日施行）に基づくものである。

### 2 適用範囲

本書は、千葉県農林水産部が発注する農業農村整備事業の工事及び委託業務における積算において適用する。

### 3 適用日

令和8年5月1日

### 4 公開内容

本書の公開内容は次のとおりである。

（1）令和8年度 地すべり調査業務の歩掛等

### 5 公開期間

本書の公開期間は、適用日から1年間である。

### 6 問い合わせ

本書の内容について、電話等による問い合わせには対応していない。

令和8年度 地すべり調査業務の見積依頼表【単価のみ】

3-3-10 ブロックサンプリング

掲載箇所：全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和7年度改定歩掛版 IV-141 (IV240表)

1試料当たり歩掛表

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	"	主任地質調査員		人				
③	"	地質調査員		人				
		計						
④	材料費	土質採取機		本		6,000	ニ-1	
⑤	"	消耗品		式				直接人件費×4%
		計						
	合計							

3-3-11 地下水追跡

掲載箇所：全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和7年度改定歩掛版 IV-141 (IV241表)

(1) 投入・採水

1ヶ月当たり歩掛表

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	"	地質調査員		人				
		計						
③	材料費	投入薬品	「修正要因」参照	kg			ホ-1からホ-3	
④	"	採水器		個		480	ホ-4	
⑤	"	採水瓶	100cc入れ 20個×(4+3+2+27)	本		80	ホ-5	
⑥	"	消耗品		式				直接人件費×1%
		計						
	合計							

調査条件（基本）

投入薬品：1試料  
 採水期間：投入前5日、投入後25日  
 計30日  
 採水箇所：10～20箇所  
 採水方法：投入日4回、2日目3回  
 3日目2回、  
 4～25日 1日1回  
 投入孔～採水地点の距離：100m

修正要因	50m以下	100m以下	200m以下	単価	単位	識別番号
採水期間	25日	30日	60日			
地質調査技師					円/人	
地質調査員					円/人	
食塩				120	円/kg	ホ-1
硫酸マンガン				4,250	円/kg	ホ-2
フローレッセン				34,800	円/kg	ホ-3
採水器				480	円/個	ホ-4
採水瓶				80	円/本	ホ-5

※採水箇所20地点で想定

(1) 投入・採水

採水距離 50m以下

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	"	地質調査員		人				
		計						
③	材料費	投入薬品	食塩	kg				投入薬品を選択する
④	"	採水器		個			ホ-4	
⑤	"	採水瓶	100cc入れ 20個×(4+3+2+22)	本			ホ-5	
⑥	"	消耗品		式				直接人件費×1%
		計						
	合計							

(1) 投入・採水

採水距離 100m以下

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	"	地質調査員		人				
		計						
③	材料費	投入薬品	食塩	kg				投入薬品を選択する
④	"	採水器		個			ホ-4	
⑤	"	採水瓶	100cc入れ 20個×(4+3+2+27)	本			ホ-5	
⑥	"	消耗品		式				直接人件費×1%
		計						
	合計							

(1) 投入・採水

採水距離 200m以下

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	"	地質調査員		人				
		計						
③	材料費	投入薬品	食塩	kg				投入薬品を選択する
④	"	採水器		個			ホ-4	
⑤	"	採水瓶	100cc入れ 20個×(4+3+2+27)	本			ホ-5	
⑥	"	消耗品		式				直接人件費×1%
		計						
	合計							

(2) 分析

1,000試料当たり歩掛表

(IV242表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量		識別番号	備考
					定性分析	定量分析		
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	"	地質調査員		人				
	"	計						
③-1	材料費	試薬類	検出品 (分析試薬類)	式				投入品
④	"	試験器具		式			へ-6	
⑤	"	消耗品		式				直接人件費×1%
	"	計						
⑥	機械等損料	分析器具		日	10		へ-7	
	合計							

投入品	検出品 (分析試薬類)		定性	定量	単価	単位	備考	識別番号
地質調査技師						円/人		
地質調査員						円/人		
硫酸マンガン	硝酸銀				34,000	円/50g		へ-1
	アンモニア水				1,900	円/500g		へ-2
食塩	クロム酸カリウム				7,000	円/500g		へ-3
	硫酸銀0.02N				14,500	円/500g		へ-4
フローレッセン	蛍光光度計				3,500	円/台	機械等損料	へ-5
試験器具					3,300	円/1式		へ-6
分析器具					10,000	円/日	機械等損料	へ-7

(2) 分析

1,000試料当たり歩掛表

番号	種別	細別	摘要	単位	数量		識別番号	備考
					定性分析	定量分析		
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	"	地質調査員		人				
	"	計						
③-1	材料費	試薬類	硝酸銀50g+アンモニア水500g	式			へ-1+2	定性分析：硫酸マンガン
④	"	試験器具		式			へ-6	
⑤	"	消耗品		式				直接人件費×1%
	"	計						
⑥	機械等損料	分析器具		日			へ-7	
	合計							

(2) 分析

1,000試料当たり歩掛表

番号	種別	細別	摘要	単位	数量		識別番号	備考
					定性分析	定量分析		
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	"	地質調査員		人				
	"	計						
③-1	材料費	試薬類	クロム酸カリウム500g+硫酸銀500g	式			へ-3+4	定量分析：食塩
④	"	試験器具		式			へ-6	
⑤	"	消耗品		式				直接人件費×1%
	"	計						
⑥	機械等損料	分析器具		日	10		へ-7	
	合計							

(2) 分析

1,000試料当たり歩掛表

番号	種別	細別	摘要	単位	数量		識別番号	備考
					定性分析	定量分析		
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	"	地質調査員		人				
	"	計						
③-1	材料費	試薬類	蛍光光度計	式			へ-5	定量分析：フローレッセン
④	"	試験器具		式			へ-6	
⑤	"	消耗品		式				直接人件費×1%
	"	計						
⑥	機械等損料	分析器具		日	10		へ-7	
	合計							

3-3-13 移動杭調査

掲載箇所：全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和7年度改定歩掛版 IV-144

(1) 設置

1本当たり歩掛表

(IV247表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	"	地質調査員		人				
	"	計						
③	材料費	コンクリート	50×50×50cm	m		20,000	テ-1	
④	"	消耗品		式				直接人件費×10%
	"	計						
	合計							

注1. 消耗品には、木杭、砂利等を含む

1-30 リングせん断試験（リング回転せん断）

掲載箇所：全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和7年度改定歩掛版 VI-28

粘性土1試料につき4供試体

(VII036表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	試験員B	(7.0+14.0)	時間		6,500	ヌ-1	1時間あたり単価
②	"	試験員C	(4.0+6.0+4.0+14.0+3.0+10.0)	時間		5,028	ヌ-2	1時間あたり単価
	"	計						
③	器具償却費	恒温乾燥炉		時		110	ヌ-3	
④	"	攪拌機		時		55	ヌ-4	
⑤	"	ふるい一式(A)	標準ふるい	時		110	ヌ-5	
⑥	"	供試体成形用具		時		55	ヌ-6	
	"	計						
⑦	機械等損料	試験機		時		1,290	ヌ-7	
⑧	"	圧密装置		時		110	ヌ-8	
⑨	"	エアコンプレッサー	補助タンク付き	時		55	ヌ-9	
⑩	"	データロガー		時		55	ヌ-10	
⑪	"	ユニバーサルスキャナ		時		55	ヌ-11	
⑫	"	計算機		時		110	ヌ-12	
	"	計						
⑬	消耗品費	シリコン		g		12	ヌ-13	
⑭	"	その他		式				⑬の消耗品費の10%
	"	計						
⑮	ソフト使用料			式		28,000	ヌ-14	
⑯	水道光熱費	(付帯設備費を含む)		式				上記合計の7%
	合計							

注. 単独で実施する場合は土粒子の密度試験費を別途加算すること

令和8年度 地すべり調査業務の見積依頼表 [歩掛及び材料費等]

特別歩掛1-1 水位観測孔・歪計・水位計の設置

1孔当たり(深度30m以内)歩掛表

(特01表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人	0.5		特-甲1	水位観測孔・歪計・水位計の設置
②	"	主任地質調査員		人	1.5		特-甲2	"
③	"	地質調査員		人	3.0		特-甲3	"
	"	計						
⑤	材料費	塩ビ管(無孔管)	VPφ50mm	m	1.0	2,100	特-甲4	水位観測孔の設置
⑥	"	パイプ式歪計	φ48mm, t 3.6mm, 1方向2ゲージ	本	30.0	5,250	特-甲5	歪計の設置
⑦	"	リード線	2方向4ゲージの場合1,020m	m	510.0			"
⑧	"	消耗品・雑品	集計範囲:上記の材料費	%	33.0		特-甲6	注2
	"	計						
⑨	機械等損料	ボーリングマシン	油圧式100m型	日	0.5	10,022	特-甲7-1	φ66mm・粘性土(オールコア)の場合
⑨	機械等損料	ボーリングマシン	油圧式100m型	日	0.5	8,328	特-甲7-2	φ66mm・粘性土(ノンコア)の場合
	合計							

パイプ式歪計は2方向4ゲージの単価を下記に記載する。

種別	細別	適用	単位	単価	識別番号
材料費	パイプ式歪計	φ48mm, t 3.6mm, 2方向4ゲージ	本	7,500	特-甲8

注1. 削孔費は別途計上のごと(上記ボーリングマシンは、観測孔設置時に使用)

注2. 消耗品・雑品には、グラウト材、ソケット、中間パイプ、ビニルテープ、木杭、砂利、フィルター、歪計収納箱、水位計格納箱等を含む。

ただし、歪計収納箱及び水位計格納箱の単価は下記を参考とする。

種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号
材料費	収納箱	歪計用	箱	1.0	32,000	特-甲参1
材料費	格納箱	水位計用	箱	1.0	34,000	特-甲参2

注3. 調査深度により次の補正係数を乗じて積算のごと。

深度m	10m以内	10~15m以内	15~20m以内	20~30m以内	30~40m以内	40~50m以内	50m超
補正係数	0.70	0.80	0.90	1.00	1.30	1.50	適宜積算
識別番号	特-甲9	特-甲10	特-甲11	特-甲12	特-甲13	特-甲14	

特別歩掛1-2-1 歪計・水位計による観測

1孔当たり(深度30m以内)歩掛表

(特02-1A表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量 都度観測 (1孔)	数量 連続観測 (10孔)	単価 都度観測 (1孔)	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人	0.5			特-乙1	歪計・水位計による観測
②	"	主任地質調査員		人	0.0			特-乙2	"
③	"	地質調査員		人	0.5			特-乙3	"
	"	計							
④	材料費	消耗品・雑品	集計範囲:上記の人件費	%	1.0			特-乙4	歪計・水位計による観測
⑤	機械等損料	静歪み指示計		台・日	1.0		215	特-乙5	歪計による観測
⑥	"	水位観測機器	水圧式	基・日	1.0		602	特-乙6	水位計による観測
	"	計							
	合計								

1孔当たり(深度30m以内)歩掛表

(特02-1B表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量 都度観測 (1孔)	数量 連続観測 (10孔)	単価 都度観測 (1孔)	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人	0.5			特-乙1	歪計・水位計による観測
②	"	主任地質調査員		人	0.0			特-乙2	"
③	"	地質調査員		人	0.5			特-乙3	"
	"	計							
④	材料費	消耗品・雑品	集計範囲:上記の人件費	%	1.0			特-乙4	歪計・水位計による観測
⑤	機械等損料	静歪み指示計		台・日	1.0		215	特-乙5	歪計による観測
⑥	"	水位観測機器	フロート式	基・日	1.0		697	特-乙8	水位計による観測
	"	計							
	合計								

注1. 観測孔の深度により次の補正係数を乗じて積算のごと。

深度m	30m未満	30~40m未満	40~50m未満	50m超
補正係数	1.00	1.15	1.30	適宜積算
識別番号	特-乙10	特-乙11	特-乙12	

特別歩掛1-2-2 歪計・水位計による観測

10孔当たり(深度30m以内)歩掛表

(特02-2A表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量 都度観測 (1孔)	数量 連続観測 (10孔)	単価 都度観測 (1孔)	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人		4.00		特-丙1	歪計・水位計による観測
②	"	主任地質調査員		人		0.00		特-丙2	"
③	"	地質調査員		人		4.00		特-丙3	"
	"	計							
④	材料費	消耗品・雑品	集計範囲：上記の人件費	%		1.00		特-丙4	歪計・水位計による観測
⑤	機械等損料	静歪み指示計		台・日		1.60	215	特-丙5	歪計による観測
⑥	"	水位観測機器	水圧式	基・日		1.60	602	特-丙6	水位計による観測
	"	計							
	合計								

10孔当たり(深度30m以内)歩掛表

(特02-2B表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量 都度観測 (1孔)	数量 連続観測 (10孔)	単価 都度観測 (1孔)	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人		4.0		特-丙1	歪計・水位計による観測
②	"	主任地質調査員		人		0.0		特-丙2	"
③	"	地質調査員		人		4.0		特-丙3	"
	"	計							
④	材料費	消耗品・雑品	集計範囲：上記の人件費	%		1.0		特-丙4	歪計・水位計による観測
⑤	機械等損料	静歪み指示計		台・日		1.60	215	特-丙5	歪計による観測
⑥	"	水位観測機器	フロート式	基・日		1.60	697	特-丙8	水位計による観測
	"	計							
	合計								

注1. 連続観測は、観測孔数により次の補正係数を乗じて積算のこと。

孔数	1~4	5~7	8~10
補正係数	0.50	0.75	1.00
識別番号	特-丙10	特-丙11	特-丙12

注2. 観測孔の深度により次の補正係数を乗じて積算のこと。

深度m	30m以内	30~40m以内	40~50m以内	50m超
補正係数	1.00	1.30	1.50	適宜積算
識別番号	特-丙13	特-丙14	特-丙15	

特別歩掛1-3 歪計・水位計による観測の資料整理

1ヶ月 1孔当たり 歩掛表

(特01表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人	0.20		特-丁1	歪計・水位計による観測の資料整理
②	"	主任地質調査員		人	0.00		特-丁2	"
③	"	地質調査員		人	0.80		特-丁3	"
	"	計						
④	材料費	消耗品・雑品	集計範囲：上記の人件費	%		3.00	特-丁4	歪計・水位計による観測の資料整理
	合計							

注1. 資料整理の実施頻度に応じて次の補正係数を乗じて積算のこと。

観測月数/実施回数	2ヶ月/ 1回	3ヶ月/ 1回	4ヶ月/ 1回	5ヶ月/ 1回	6ヶ月/ 1回	12ヶ月/ 1回
補正係数	1.80	2.70	3.50	4.20	5.00	10.00
識別番号	特-丁5	特-丁6	特-丁7	特-丁8	特-丁9	特-丁10

令和8年度 地すべり調査業務の見積依頼表 [補正係数のみ]

地すべり解析に係る個所数等による補正

令和7年度 設計業務等標準積算基準書 第2編 地質調査業務  
 第2章 地質調査標準歩掛等 第5節 地すべり調査

5-5-1 地盤特性検討 (1業務当り)

工程 \ 職種	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
地盤特性検討	1.0	1.0	0.5	1.0	1.5

注1. 本表は、地盤特性検討1箇所の場合の標準歩掛であり、検討個所数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に準じて適用する。

検討個所数(箇所)	1	2	3	4	5	6	7	8
補正係数	1.0	1.6	2.1	2.7	3.3	3.9	4.4	5.0

5-5-2 機構解析 (1業務当り)

工程 \ 職種	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
機構解析	1.5	1.5	1.0	1.0	0.5

注1. 本表は、機構解析1ブロックの場合の標準歩掛であり、解析ブロック数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に準じて適用する。

解析ブロック数	1	2	3	4	5	6	7	8
補正係数	1.0	1.3	1.6	1.9	2.2	2.5	2.8	3.1

5-5-4 対策工法選定 (1業務当り)

工程 \ 職種	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
対策工法選定	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0

注1. 本表は、対策工法選定対象1箇所あたりの場合の標準歩掛であり、選定個所数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に準じて適用する。

選定個所数(箇所)	1	2	3	4	5	6	7	8
補正係数	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5